

公民科（現代社会）ロードマップ

| | |
|---------|--|
| 現代社会 | |
| 期待する生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 広い視野に立って物事を考えることができる生徒 ◆ 生涯にわたって自己の在り方生き方について考えることができる生徒 ◆ 持続可能な社会の形成に参画しようとする意欲をもっている生徒 |

| 大項目 | 中項目及び単元 | 単元のねらい (身に付けさせたい力等) | 【単元を貫く問い】 ◇単元内における 問いの例 | 題材例 | |
|-----------------------|-------------|------------------------|--|---|-------------------------------|
| (1) 私たちの生きる社会 | 現代の諸課題 | ①生命 | 現代社会の在り方を考察する基盤として、生命に関わる課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正の枠組みを理解させる。 (課題を考察するための枠組みを理解する力) | ◇安楽死を認めるべきか。 【現代社会の課題はどのように考察すべきか】 | 尊厳死 安楽死 |
| | | ②情報 | 幸福、正義、公正の枠組みを理 | ◇私たち高校生の携帯電話・スマートフォンの使用は規制すべきか。 | 愛知県刈谷市の携帯電話・スマートフォンの使用についての取組 |
| | | ③環境 | 環境に関わる課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正の枠組みを理解させる。 (課題を考察するための枠組みを理解する力) | ◇地球温暖化防止に向けて、どのように考えるべきか。 | ブルントラント委員会報告書『われら共有の未来』 |
| (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 | ア 青年期と自己の形成 | ①青年期の意義 | 青年期の意義を理解させた上で、青年としてどのように生きるのかを考察させる。 (自己を社会との関わりのなかで考える力) | 【自分らしく生きるために、私は今どうすればよいか】 | モラトリアム |
| | | ②自己実現と職業生活、社会参加 | 自らの人生や進路選択などを視野に入れながら、自己形成に関わる自らの課題を考察させる。 (異なる立場からものを見る力、分かりやすく表現する力) | 【なぜ働くのか】 | 『千と千尋の神隠し』(DVD) |
| | | ③伝統と文化 | 伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察させる。 (関連付ける力) | 【自己と伝統や文化はどのような関わりをもっているか】 | 聖徳太子「和」、伊藤仁斎「誠」 |

| 大項目 | 中項目及び単元 | 単元のねらい (身に付けさせたい力等) | 【単元を貫く問い】 ◇単元内における 問いの例 | 題材例 | |
|-----------------------|--------------------|------------------------|--|------------------------------|----------------------------------|
| (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 | イ 現代の民主政治と政治参加の意義 | ① 基本的人権の保障 | 国家権力と人権保障との関係について考察させる。 (気付く力) | 【なぜ人は協力して共同体を作るのか】 | 社会契約説 |
| | | ② 国民主権と天皇の地位と役割 | 国民主権が実現される仕組みについて理解させる。 (社会意識) | 【人は、どうすれば皆と協力して生きることができるか】 | 日本国憲法第1条 |
| | | ③ 平和主義と我が国の安全 | 我が国の安全と世界の平和の維持との関連について理解させる。 (社会意識) | 【どうすれば日本の安全を確保できるか】 | 日本国憲法前文, 第9条 |
| | | ④ 議会制民主主義と権力分立 | 議会制民主主義と民主政治における権力分立の意義について理解させる。 (関連付ける力) | 【どうすれば皆のことを皆で決めることができるか】 | モンテスキュー『法の精神』, フランス人権宣言 |
| | | ⑤ 政治参加の重要性 | 政治参加の意義について考察させる。 (異なる立場からものを見る力, 分かりやすく表現する力) | 【なぜ政治に参加すべきなのか】 | 地域まちづくり手引き書～まちに飛び出せ! N子さん～(名古屋市) |
| | ウ 個人の尊重と法の支配 | ① 個人の尊重 | 個人の尊重原理の意義を理解させる。 (気付く力) | 【なぜ人は、個人として尊重されるべきなのか】 | 日本国憲法第13条 |
| | | ② 国民の権利の保障 | 権利の保障と他者の権利や公共の利益とをどのようにして調和させるかについて考察させる。 (異なる立場からものを見る力, 分かりやすく表現する力) | 【どうすれば他者と協力することができるか】 | 「石に泳ぐ魚」事件 |
| | | ③ 法の支配と法や規範の意義及び役割 | 法の支配の意義と社会規範の役割について理解させる。 (関連付ける力, 比較する力) | 【なぜ法を形成するのか】 | 全権委任法 |
| | | ④ 司法制度の在り方 | 国民の司法参加の意義について理解させる。 (関連付ける力) | 【なぜ国民も司法に参加すべきなのか】 | 裁判員制度 |
| | エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 | ① 現代の経済社会の変容 | 資本主義経済の発展について理解させる。 (関連付ける力) | 【資本主義経済はどのような考え方の下に発展してきたか】 | ニューディール政策 |
| | | ② 市場経済の機能と限界 | 市場機構と市場経済の限界について理解させ、企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 (多面的にもものを見る力) | 【企業は、どうすれば皆の幸福の実現を図ることができるか】 | ステークホルダーとCSR |

| 大項目 | 中項目及び単元 | | 単元のねらい (身に付けさせたい力等) | 【単元を貫く問い】 ◇単元内における 問いの例 | 題材例 | |
|-----------------------|---------|---------------------|---|--|--|------------|
| (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 | エ | ③ 政府の役割と財政・租税 | 市場経済の中での政府の役割について理解させ、主権者としての立場から関心をもたせる。 (現実から問題を見いだす力) | 【政府は、どうすれば皆の幸福の実現を図ることができるか】 | 「平成 27 年度第 54 回税に関する高校生の作文」募集用資料 (国税庁) | |
| | | ④ 金融 | 現代の経済社会における金融の意義や役割について理解させる。 (社会意識, 概念を捉える力) | 【金融はどのような働きをしているか】 | 「ケーザイへの 3 つのトビラ ～経済探求の旅に出よう～」 (金融・証券教育支援センター) | |
| | | ⑤ 経済成長や景気変動と国民福祉の向上 | 経済成長と近年の景気変動の主要因や、政府による経済対策について、国民福祉の向上と関連させて理解させる。 (関連付ける力) | 【政府と日本銀行は、景気と物価の変動に対して、どうすればよいか】 | ジンバブエの自国通貨(ジンバブエ・ドル)廃止 | |
| | | ⑥ 雇用, 労働問題 | 雇用の在り方や労働問題について国民福祉の向上の観点から考察させる。 (異なる立場からものを見る力) | 【どうすれば労働者の権利を守ることができるか】 | 雇用形態別生涯賃金と年金受給額 | |
| | | ⑦ 社会保障 | 社会保障制度の課題について考察させる。 (多面的にもものを見る力) | 【どうすれば幸福を分かち合う社会の実現を図ることができるか】 | 世代別の保険料負担額と年金給付額 | |
| | | ⑧ 公害の防止と環境保全 | 公害防止と環境保全のために行政及び、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 (関連付ける力) | 【どうすれば公害防止と環境保全を進めることができるか】 | ドイツの容器包装の循環システム | |
| | | ⑨ 消費者問題 | 消費者問題について考察させるとともに、消費者市民としての自己の在り方生き方について考察させる。 (異なる立場からものを見る力, 分かりやすく表現する力) | 【消費者にはどのような力があるのか】 | 「一消費生活情報一あいち暮らしっく」 (愛知県県民生活部県民生活課) | |
| | | オ | ① 国際社会の動向 | 国際社会における政治や経済の動向及び国際社会の諸問題について関心を持たせる。 (社会意識) | 【国際社会では、どのような問題が増加しているのか】 | 南シナ海の領有権問題 |
| | | | ② 人権, 国家主権, 領土に関する国際法の意義 | 人権, 国家主権, 領土に関する国際法の意義について理解させる。 (関連付ける力) | 【なぜ国際法を形成するのか】 | 世界人権宣言 |

| 大項目 | 中項目及び単元 | | 単元のねらい (身に付けさせたい力等) | 【単元を貫く問い】 ◇単元内における 問いの例 | 題材例 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|--|---------------------------------|---|
| (2) 現代社会と人間としての在り方生き方 | オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 | ③人種・民族問題 | 人種・民族問題の背景や原因及び難民問題について考察させる。 (異なる立場からものを見る力) | 【どうすれば人種・民族問題の解決を図ることができるか】 | パレスチナ問題 |
| | | ④核兵器と軍縮問題 | 世界の安全保障の在り方や、軍縮の意義について考察させる。 (異なる立場からものを見る力) | 【どうすれば軍縮を進めることができるか】 | 対人地雷全面禁止条約とクラスター爆弾禁止条約 |
| | | ⑤我が国の安全保障と防衛及び国際貢献 | 日本の安全保障の在り方と防衛及び国際貢献について考察させる。 (社会意識) | 【日本は、どうすれば国際社会の平和と安全に対して貢献できるか】 | 人間の安全保障 |
| | | ⑥経済における相互依存関係の深まり | 世界経済の結び付きと相互依存関係について理解させる。 (社会意識) | 【なぜ欧州連合は、ギリシア支援に合意したのか】 | ギリシア債務危機 |
| | | ⑦地域経済統合 | 地域的経済統合の動きと二国間以上で協定を結ぶ動きについて理解させる。 (異なる立場からものを見る力) | 【なぜ TPP 交渉が進められているのか】 | TPP |
| | | ⑧南北問題など国際社会における貧困や格差 | 国際社会における貧困や格差に対する先進国の経済協力の在り方について考察させる。 (異なる立場からものを見る力) | 【どうすれば南北問題の改善を図ることができるか】 | フェアトレード |
| | | ⑨国際的な組織の役割 | 国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について考察させる。 (関連付ける力) | 【どうすれば国際平和の実現を図ることができるか】 | 国際連合 |
| | | ⑩国際社会における日本の役割 | 国際社会における日本の政治的、経済的、社会的な役割について、日本人及び人類という立場から考察させ、自分自身の生き方について考察させる。 (異なる立場からものを見る力、分かりやすく表現する力) | 【私は、どうすれば人類の幸福の実現に貢献することができるか】 | 『「世界中のすべての人へ」広島長崎中高生平和宣言』(広島・長崎 中高生平和宣言起草委員会) |

| 大項目 | 中項目及び単元 | 単元のねらい (身に付けさせたい力等) | 【単元を貫く問い】 ◇単元内における 問いの例 | 題材例 |
|-------------------------|---|---|--|--|
| <p>(3) 共に生きる社会を目指して</p> | <p>課題探究学習</p> <p>① 個人と社会の関係</p> <p>② 社会と社会の関係</p> <p>③ 現役世代と将来世代の関係</p> | <p>持続可能な社会の形成に参画する人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>自らと社会とのかかわりや、社会の課題を克服するにはどのような考え方が必要なのかについて考察させる。 (現実から問題を見いだす力, 異なる立場からものを見る力, 論理的に説明する力)</p> <p>どのように利害の調整を行えば対立する社会を含む全ての社会にとって望ましい解決になるのか, 自己の生き方について考察させる。 (現実から問題を見いだす力, 異なる立場からものを見る力, 論理的に説明する力)</p> <p>現役世代の幸福と, 将来世代の幸福の調和をどのような考え方の下で, どのように図っていくべきかについて, 自己の生き方を考察させる。 (現実から問題を見いだす力, 異なる立場からものを見る力, 論理的に説明する力)</p> | <p>【どうすれば持続可能な社会の形成を図ることができるか】</p> <p>◇小単元の問題については, 生徒が設定する。</p> | <p>個人と社会の関係, 社会と社会の関係, 現役世代と将来世代の関係のいずれかに着目させる。 (学校, 学級単位または生徒個々の選択)</p> |
| | <p>課題探究学習①～③のうちから一つ選択させる。</p> | | | |

公民科 単元デザイン

| | |
|----|------|
| 科目 | 現代社会 |
|----|------|

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|--------------|---------------------------------|------------|--|--|--|--|
| 期待する生徒像 | | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 広い視野に立って物事を考えることができる生徒 ◆ 生涯にわたって自己の在り方生き方について考えることができる生徒 ◆ 持続可能な社会の形成に参画しようとする意欲をもっている生徒 | | | | | | | | | |
| (1) 私たちの生きる社会 (大項目) | | | | | | | | | | | |
| 単元 | 現代の諸課題 | ねらい | 現代社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正という枠組みを理解させる。 | | | | | | | | |
| この単元で身に付けさせたい力等 | | ・ 課題を考察するための枠組みを理解する力 | | | | | | | | | |
| 【単元を貫く問い】 | | 【現代社会の課題はどのように考察すべきか】 | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>小単元</td> <td>②情報</td> </tr> <tr> <td>ねらい</td> <td>情報に関わる課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正の枠組みを理解させる。</td> </tr> <tr> <td>◇単元内における問いの例</td> <td>◇私たち高校生の携帯電話・スマートフォンの使用は規制すべきか。</td> </tr> <tr> <td>授業における主な活動</td> <td></td> </tr> </table> <p><題材例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県刈谷市の携帯電話やスマートフォンの使用についての取組 <p><主な言語活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで、携帯・スマートフォンの活用に際してのメリットとデメリットについて考える。 ・ グループで、携帯・スマートフォンの使用の規制に反対する立場と賛成する立場の幸福について考える。 ・ グループで、両者の幸福をどのように実現に導くか、考える。 ・ グループで、私たち高校生の携帯電話・スマートフォンの使用の規制について、幸福、正義、公正を用いて考え、模造紙にまとめる。 ・ 各グループの内容を比較する。 <p>◎両者の幸福を実現することができる自己の生き方について、ワークシートにまとめる。</p> | 小単元 | ②情報 | ねらい | 情報に関わる課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正の枠組みを理解させる。 | ◇単元内における問いの例 | ◇私たち高校生の携帯電話・スマートフォンの使用は規制すべきか。 | 授業における主な活動 | | <p>〔例〕 携帯電話・スマートフォンの使用</p> <p>《規制反対派の幸福》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の自由を確保したい ・ 友人との交流を増やしたい ・ 情報を発信したい <p>対立する 場合がある</p> <p>《規制賛成派の幸福》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習時間や睡眠時間を確保したい ・ いじめ、犯罪に巻き込まれたくない <p>《公正》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子や友人間で携帯電話・スマートフォンの使用について話し合いをする場を設ける。 ・ ネチケットについて考える。 ・ プライバシーの保護について考える。 <p>《正義》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆が納得できる携帯電話・スマートフォンの使用について考える。 <p>《自己の生き方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆が納得できる携帯電話の使用ルールとはどのようなものかと考え続ける必要がある。その際、自分とは異なる立場・価値観の相手とも対等な立場で解決策を出し合い、譲れるところは譲り、皆の意見が反映されるような解決策を見つけ出していきたい。 ・ 親や友人と話し合い、自主的にルールをつくり、はじめをつけてスマートフォンを使用していきたい。 | | |
| 小単元 | ②情報 | | | | | | | | | | |
| ねらい | 情報に関わる課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正の枠組みを理解させる。 | | | | | | | | | | |
| ◇単元内における問いの例 | ◇私たち高校生の携帯電話・スマートフォンの使用は規制すべきか。 | | | | | | | | | | |
| 授業における主な活動 | | | | | | | | | | | |
| 評価観点 | 知識・理解 | 評価方法 | ワークシート | | | | | | | | |
| | | 評価規準 | 情報に関わる課題を考察する基盤として幸福、正義、公正などについて理解し、その知識を身に付けている。 | | | | | | | | |

公民科 単元デザイン

| | |
|----|------|
| 科目 | 現代社会 |
|----|------|

| | |
|---------|--|
| 期待する生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 広い視野に立って物事を考えることができる生徒 ◆ 生涯にわたって自己の在り方生き方について考えることができる生徒 ◆ 持続可能な社会の形成に参画しようとする意欲をもっている生徒 |
|---------|--|

(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 (大項目) エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 (中項目)

| | | | |
|----|-------|-----|--|
| 単元 | 消費者問題 | ねらい | 消費者問題について考察させるとともに、消費者市民としての在り方生き方について考察させる。 |
|----|-------|-----|--|

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| この単元で身に付けさせたい力等 | ・異なる立場からものを見る力 ・分かりやすく表現する力 |
|-----------------|-----------------------------|

| | | |
|-----------|--------------------|-------|
| 【単元を貫く問い】 | 【消費者にはどのような力があるのか】 | 評価場面◎ |
|-----------|--------------------|-------|

| | |
|---|---|
| <p>授業における主な活動</p> <p><題材例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県県民生活部県民生活課「一消費生活情報ーあいち暮らしっく 2014 年 No.109 若者向け特集号 キミの行動が社会を変える」 ・愛知県県民生活部県民生活課「消費生活情報紙 あいち暮らしっく 2013 年 No.102 ー公正で持続可能な未来のためにー」 <p><主な言語活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、消費者と企業の幸福について考える。 ・グループで、消費者の権利と責任や法律から、求められている消費者像と、その理由を考える。 ・グループで、両者の幸福をどのように実現に導くか、考える。 ・グループで、消費者問題について、幸福、正義、公正を用いて考え、模造紙にまとめる。 ・各グループの内容を比較する。 ・グループで、自分ができることを考える。 <p>◎消費者問題と消費者市民としての自己の生き方について、ワークシートにまとめる。</p> | <div style="text-align: center;"> <p>〔例〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>《消費者の幸福》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心の確保、被害に遭わない ・環境保護 ・資源の有効活用 ・公正な市場形成 ・地域の活性化 </div> <div style="text-align: center;"> <p>消費者問題 対立する 場合がある 《公正》</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>《企業の幸福》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利潤の確保 ・質のよい商品やサービスの提供 ・社会への貢献 ・社会からの高い評価 *悪質な企業も存在する </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者と企業、行政が対等な立場で話し合う場を設ける ・全ての人々が消費者の8つの権利と消費者の5つの責任を尊重する ・全ての人々が受け入れ可能な解決策を模索し、合意を形成する ・消費者の権利尊重と自立支援を図る法律を制定する ・消費者に情報を提供し、消費者教育を推進する ・将来世代や国内外の社会経済状況、地球環境にも配慮する </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>《正義》</p> <p>消費者市民社会の形成</p> <p>「消費者が、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会」</p> <p>①消費者の権利と責任を自覚した自らの消費行動→②企業、社会の改善や発展→③公正で持続可能な社会の形成</p> <p>《自己の生き方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、消費者市民として、自らの日々の消費が企業や社会に与える影響を自覚して、自分だけでなく周りの人々や、将来生まれる人々の状況、国内外の社会経済状況や地球環境まで考えて生活したい。まずは、地産地消など、できることから行動したい。 </div> </div> |
|---|---|

| | | | | | |
|------|----------|------|--------|------|--|
| 評価観点 | 思考・判断・表現 | 評価方法 | ワークシート | 評価規準 | 消費者問題について、幸福、正義、公正を用いて考察するとともに、消費者市民としての在り方生き方について考察し、適切に表現している。 |
|------|----------|------|--------|------|--|

公民科 単元デザイン

| | |
|----|------|
| 科目 | 現代社会 |
|----|------|

| | |
|---------|--|
| 期待する生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 広い視野に立って物事を考えることができる生徒 ◆ 生涯にわたって自己の在り方生き方について考えることができる生徒 ◆ 持続可能な社会の形成に参画しようとする意欲をもっている生徒 |
|---------|--|

(3) 共に生きる社会を目指して (大項目)

| | | | |
|----|--------|-----|---------------------------------------|
| 単元 | 課題探究学習 | ねらい | 持続可能な社会の形成に参画する人間としての在り方生き方について考察させる。 |
|----|--------|-----|---------------------------------------|

| | |
|-----------------|--|
| この単元で身に付けさせたい力等 | ・現実から問題を見出す力 ・異なる立場からものを見る力 ・論理的に説明する力 |
|-----------------|--|

| | | |
|-----------|-----------------------------|-------|
| 【単元を貫く問い】 | 【どうすれば持続可能な社会の形成を図ることができるか】 | 評価場面◎ |
|-----------|-----------------------------|-------|

| | |
|---|---|
| <p>小単元 ③現役世代と将来世代の関係</p> <p>ねらい 現役世代の幸福と、将来世代の幸福の調和をどのような考え方の中で、どのように図っていくべきかについて、自己の生き方を考察させる。</p> <p>◇単元内における問いの例</p> <p>◇現役世代の幸福と、将来世代の幸福の調和をどのような考え方の中で、どのように図っていくべきか。具体的には、生徒が設定する。</p> <p>[例] 持続可能な社会の形成のためには、今後のエネルギー政策はどうあるべきか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><題材例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の設定については、持続可能な社会の形成に参画するという観点から、学校、学級、グループ単位または生徒個々で選択する。[例] グループ ・資料の収集については、グループまたは生徒個々に行う。[例] グループ <p><主な言語活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、現役世代と将来世代の関係における諸課題の中から、探究する課題を選択する。[例] 資源・エネルギー問題、人口問題と食料問題 ・グループで、現役世代と将来世代の幸福について考える。 ・グループで、両者の幸福をどのように実現に導くか、考える。 ・グループで、課題について、幸福、正義、公正を用いて考え、模造紙にまとめ、発表する。 <p>◎持続可能な社会の形成に参画するという観点を中心として設定した現代社会における課題と自己の生き方について、レポートにまとめる。</p> | <p>資源・エネルギー問題</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>《現役世代の幸福》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なエネルギーを確保したい ・石油・石炭・原子力発電を利用したい ・再生可能エネルギーでは必要量を確保できない ・低コストで、経済成長し続けたい </div> <div style="text-align: center; width: 10%;"> <p>対立 する 場合がある</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>《将来世代の幸福》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なエネルギーを確保したい ・CO2増加による地球温暖化は困る ・放射性廃棄物の管理・処理問題の未解決（環境汚染）は困る ・現役世代の責任を押しつけられては困る </div> </div> <p>《公正》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての社会やさまざまな立場の人々が対等な立場で話し合う国際会議などの場を設ける ・少数者の立場にも配慮する ・全ての社会や人々が受け入れ可能な解決策を模索し、合意を形成する <p>《正義》</p> <p>持続可能なエネルギー利用による持続可能な社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの効率的な利用の徹底 ・再生可能エネルギーの開発と普及によるエネルギー政策の転換 ・産児制限や経済成長の鈍化、消費の抑制や環境破壊防止のためのコスト負担 <p>《自己の生き方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球的な視野の下で、将来世代の幸福をも含め、全ての人が共存・共生することができるエネルギー政策や利用について、私は今の立場で何ができるか考え続けていきたい。 |
|---|---|

| | | | | | |
|------|----------|------|--------|------|--|
| 評価観点 | 思考・判断・表現 | 評価方法 | ワークシート | 評価規準 | 持続可能な社会の形成に参画するという観点を中心として設定した現代社会における課題について、幸福、正義、公正などを用いて考察するとともに、自己の在り方生き方について考察し、適切に表現できる。 |
|------|----------|------|--------|------|--|